



※この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

- 本製品施工の際は、フルフラットフロアⅡ 取付け説明書を併せてご使用ください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

- ・本製品は、フルフラットフロアⅡに取付ける商品です。それ以外の場所へは取付けないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

■施工上のご注意

●組立て施工について

- ・みだりに改造、変更をしないでください。

●部材の固定について

- ・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また使用中ゆるまないように締め付けてください。

- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} / \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

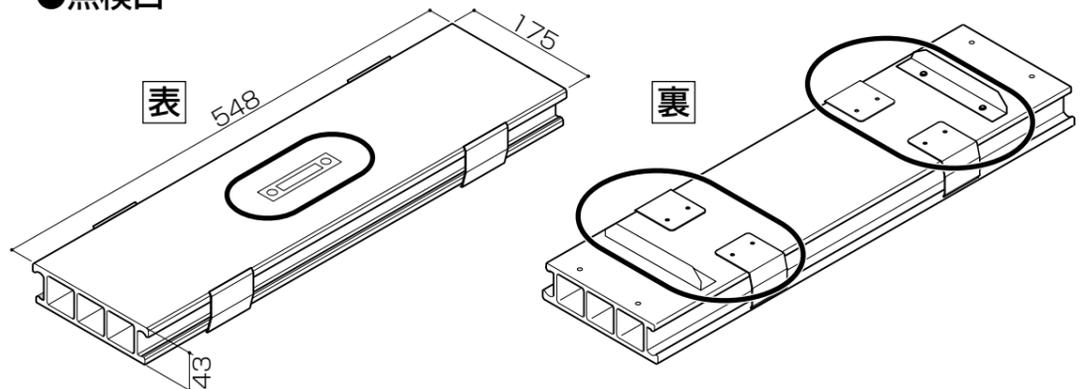
■梱包明細表

名称	略図	員数
点検口		1
床板キャップ		4
皿タッピンねじ(1種)φ4×16		8
取付け説明書(MAM-56)	—	1

※床板キャップは現場取付けになります。

■施工時の重要確認事項

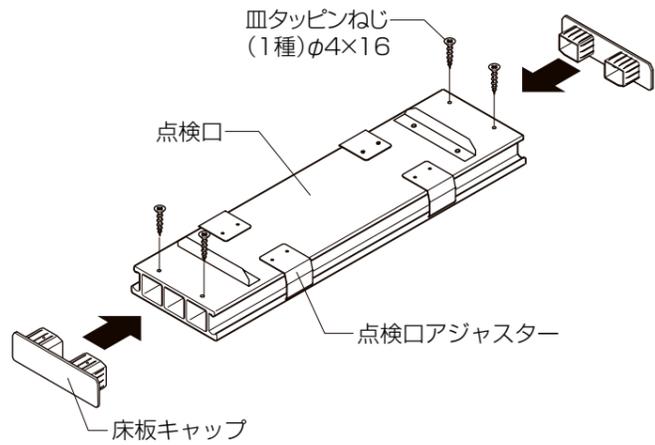
●点検口



- 点検口本体にあらかじめ付いているねじは当て板を使って固定しています。一度ねじを外すと組付けができなくなります。図の位置のねじは外さないでください。
- 施工終了後は点検口の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

■取付け詳細

■点検口の組立て



●床板キャップの取付け

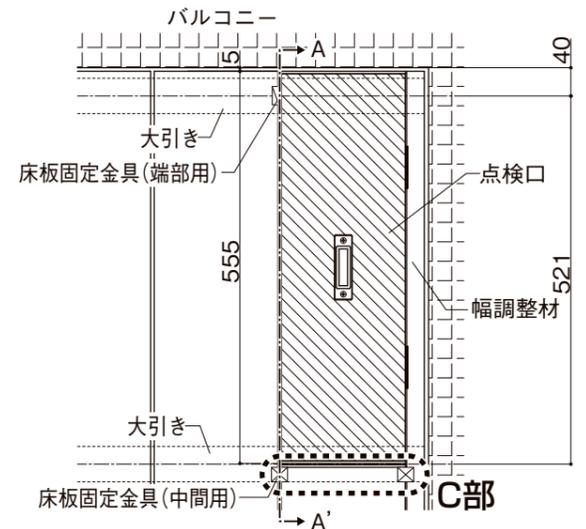
- ・点検口両端に床板キャップ(2個)を皿タッピンねじ(1種)φ4×16で取付けてください。
- ※残りの床板キャップは本体床板へ取付けます。(C部詳細図)

●点検口アジャスターの調整

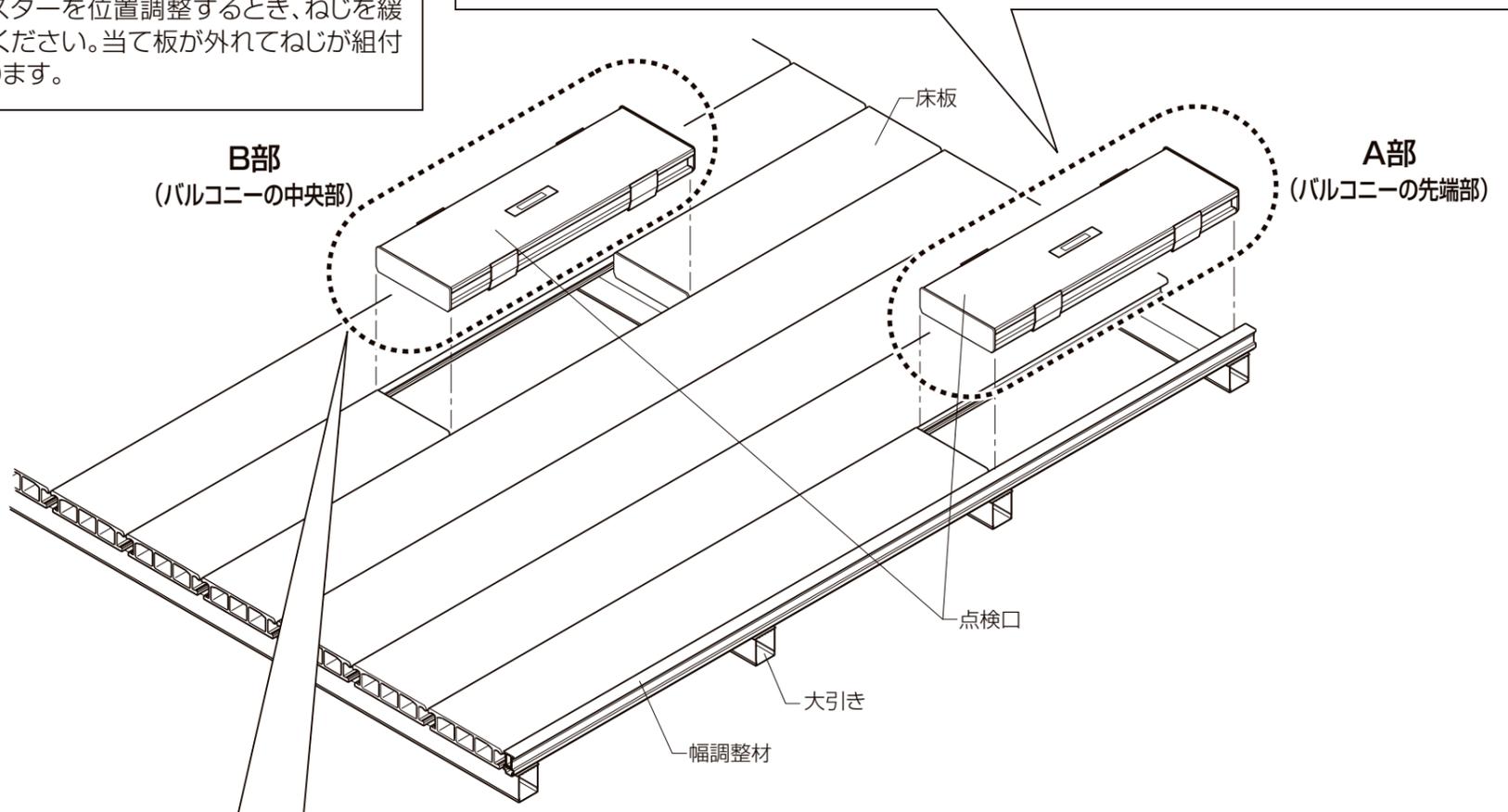
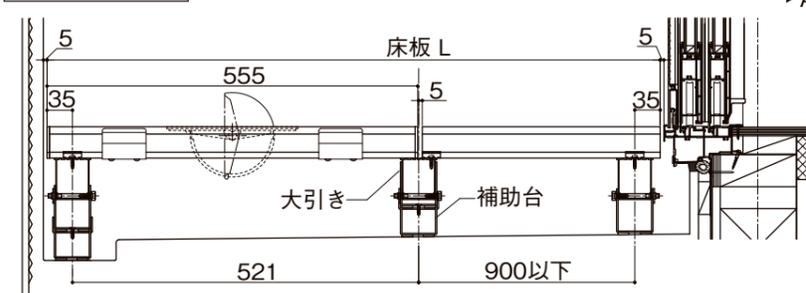
- ・点検口アジャスターは、点検口本体と床板の間のガタつきをなくす部品です。
- ・点検口アジャスターには、長穴調整機能が付いています。
- ※点検口アジャスターを位置調整するとき、ねじを緩めすぎないでください。当て板が外れてねじが組付けできなくなります。

■A部詳細図(バルコニーの先端部に点検口を配置する場合)

- ※バルコニーの先端部に点検口を配置する場合、床板キャップの使用数は3個になります。(1個は不要となります。)
- ※本体床板への加工がありますので「C部詳細図」を参照ください。



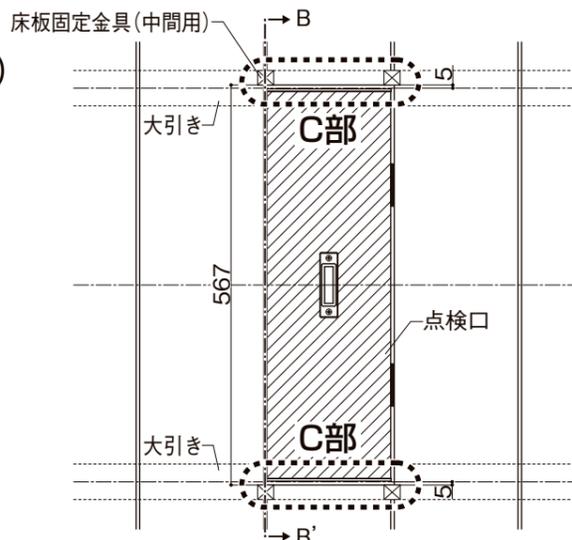
A-A' 断面図



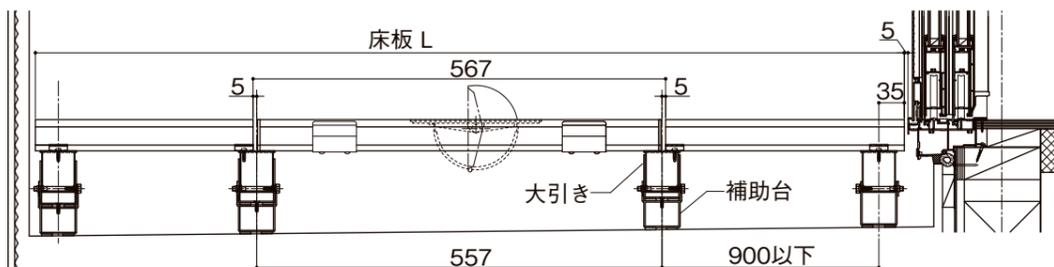
■B部詳細図

(バルコニーの中央部に点検口を配置する場合)

- ※点検口設置の床板を567mmあけて切断してください。
- ※床板は点検口用に設置した大引きの中心から5mmずらした長さで切断してください。(B-B'断面図参照)
- ※本体床板への加工がありますので「C部詳細図」を参照ください。



B-B' 断面図



■C部詳細図(本体側の床板キャップの取付け)

- ①床板裏面に、φ5とφ9の皿取りの穴をあけてください。
- ②床板に床板キャップを皿タッピンねじ(1種)φ4×16で取付けてください。

